

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	実践状況 ⊕長所 ⊖短所	運営推進会議で話しあった内容（意見等）	外部評価（7名）	次のステップへ向けて期待したい内容
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕法人経営理念「我々自身が利用したいと思える医療・福祉サービスを提供する」を毎朝の朝礼で唱和している。 ⊖理念は周知できているが、実践につなげるために、業務改善を図り、時間に余裕を持たせることが必要と考える。			➢利用したいと思える事業所とは、どのようなサービスなのか具体的に考えていきたい。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕婦人部の活動にお声を掛けていただき、精霊船の花づくりに参加した。 ⊕市民大清掃の時期には、建物周辺の草刈り、掃除などを行った。 ⊕介護実習生を受け入れることで、新たな視点に気付くことができた。 ⊕事業所から小学校に出向いて、介護の仕事講座を行う予定（12/15）	➢実習生を受け入れていただくことは、後進の教育・育成の面で大変ありがたい。今後も引き続きお願いしたい。 ➢日常的に地域との連絡を保ち、良く協力していただいております。 ➢「事業所と地域のつきあい」については、感染予防に配慮し現段階で行えることを実行できている。 ➢評価項目文面に「認知症の人の理解や支援の方法などを共有し…」とありますが、共有する範囲を職員とするのであれば評価は高いですが、その範囲を地域とするはまだまだ努力不足と評価します。 ➢以前からの地域活動も継続してされているようですので、しっかりと地域に根付いていると思います。今後も継続的に地域と関わって頂きたいと思います。 ➢毎年、建物敷地を無償で提供して下さることで、4丁目の精霊船製作・飾り付けができます。利用者様には花づくりに参加してもらい感謝の一言に尽きます。 ➢建物敷地内の植木や雑草が生活道にはみ出し、近隣の方より刈取りの依頼に、即対応していただき、地域の皆さんに代わり感謝と御礼を申し上げます。		➢現在の交流を維持し、新たな取り組み等、地域交流の活性化を期待する。 ➢地域活動に参加し、認知症の理解を深めていきたい。

					<p>>介護実習の受け入れについては、今後の介護人材の確保の観点から是非お願いします。</p> <p>>事業所から小学校に出向いて介護の仕事講座を行うことで、低学年から介護職の大切さを教わり、老人に思いやりを持って接する人材育成となっている。</p>		
3	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕事業所の入退去状況・事故発生状況・活動状況等について、書面で報告している。</p> <p>⊕自治会等から、地域の活動内容について、情報をいただいている。</p> <p>⊕会議参加者とご家族様全員に議事録を配付し意見を求めている。その意見を活かしてサービス向上に努めている。</p> <p>⊖感染予防の観点から、開催を中止しているため、書面報告は行っているが、話し合いという意味では、できていないのが現状である。</p>	<p>>介護実習の受け入れについては、今後の介護人材の確保の観点から是非お願いします。</p> <p>>事業所から小学校に出向いて介護の仕事講座を行うことで、低学年から介護職の大切さを教わり、老人に思いやりを持って接する人材育成となっている。</p> <p>>運営推進会議では、良い面だけではなく、改善が必要と考える点についても詳細に報告していただけるので、現状の把握や意見の提示がしやすい運営ができていると感じている。</p> <p>>運営推進会議では、取り組み結果についての突っ込んだ質疑をおこなっておりますが、真摯に対応していただき的確な回答をいただいております。</p> <p>自己評価記載の「感染予防による運営推進会議の開催中止、書面報告」を差し引いて評価した場合、集合型の運営推進会議では「利用者やサービスの実際、評価への取組、介護事故」については適切になされていると評価します。また、介護事故については、運営推進会議の中で構成員より積極的な意見交換がなされています。</p> <p>ただし、運営会議の場で解決や助言を求める問題定義はなかったと認識しています。</p> <p>>コロナ禍の中での対応が難しい部分が続いております。その中でも書面報告等により電話連絡をされておられますので、出来る事をしっかり取組み、関係者との繋がりを担保されていると思います。</p> <p>>感染対策を行い、身の安全を守ることが大事。開催の中止はやむを得ない。議事録を毎回郵送配布していただき報告を受けています。</p>		<p>>運営推進会議を活かして、地域と交流を深める。</p>

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕運営推進会議には、地域包括支援センターの職員に参加いただくことで、地域の情報を得る機会となっている。 ⊕運営において、疑問点などがあれば、市の担当者へ連絡し、直接確認している。 ⊕長崎市認知症グループホーム連絡協議会の役員活動において、市の担当者と交流する際は、協力体制を築くことを意識している。	>法令を遵守した適切な運営がなされるよう、今後も自己評価に記載されているような市町村との連携を続けていただきたい。 >管理者を中心に市町村、管轄包括支援センターとの連携は築けていると評価します。 >定期的な運営推進会議のお知らせや、GHでの活動を報告して頂いて情報を共有させて頂いております。こちらからも提供できる情報があれば引き続き提供していきながら協力が出来たらと思います。 >疑問や問題は先延ばしにせず、優先順位を決めて行った結果、活動の幅を広げられた部分もあったのではないのでしょうか。第三者の（地域等）情報は大事です。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕「身体拘束ゼロ」と「事業所の指針」に沿って、内部研修を実施している。10月に身体拘束・虐待をテーマに開催されたオンライン研修に委員会メンバー3名が参加した。 ⊕日々の取り組みで「不適切なケア」と感じたことを、勤務者同士で話し合っていたが、同じような実例や主旨とずれた内容となっていた為、6月に「虐待の芽チェックリスト」のアンケートを実施した。その結果を踏まえて、実際に使われている言葉（NGワード）等、意見を出し合う機会を設けた。今後も委員会を中心に対策を検討し、身体拘束を起こさないケアに取り組んでいきたいと考えている。 ⊕日中、玄関は施錠していない。ベッド柵は2つ以上設置していない。 ⊖移動介助が必要な方に対して、長時間車椅子に座りっぱなしになっている場面がある。		A. 十分にできている 0% B. ほぼできている 71% C. あまりできていない 29% D. ほとんどできていない 0%	

				<p>⊖帰宅願望など訴えがある利用者様に対して、行動を止めてしまうような声掛けを行っている場面がある。</p> <p>⊖上記、座りっぱなしや行動を止めてしまう理由として、全体的な介助量（忙しさ）で、安全面を考慮するとやむを得ない場面もある。しかし、ちょっとした声掛けや説明など、配慮が不足していることも事実と考えている。</p>		
6	虐待の防止の徹底	<p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕毎月、身体拘束・虐待をテーマに委員会を開催し、不適切なケアについて話す機会を設けている。</p> <p>⊕身体拘束・虐待をテーマとした外部研修に委員会メンバー3名が参加した。</p> <p>⊕上記研修参加に加え、その内容を事業所全体で共有できるように伝達研修を行う等、事業所全体で虐待防止の意識を高める機会となっている。</p> <p>⊕職員と面談する機会を設けている。職員がストレスを抱えていないか等、課題解決に向けて取り組んでいる。</p> <p>（11/14～11/17 職員の面談を実施）</p> <p>⊖身体拘束・虐待をテーマとした外部研修に参加できていない職員もいる為、積極的に参加を呼び掛けていきたいと考えている。</p>	<p>A. 十分にできている 29%</p> <p>B. ほぼできている 71%</p> <p>C. あまりできていない 0%</p> <p>D. ほとんどできていない 0%</p>	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	<p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕成年後見制度を利用している方を事例に上げて、資料を基に施設内研修を実施する等、理解を深める機会を設けている。</p> <p>⊖外部の研修に参加できていない。</p>		

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕事業所の重要事項説明書に沿って説明し同意を得て、契約を結んでいる。契約後も、不安や疑問点、苦情等について、相談窓口の説明をしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕運営推進会議を活用して、2ヶ月に一回、利用者様ご家族様全員に意見・要望を求めている。 対策が必要な内容については、管理者と介護リーダーを中心に協議し、議事録として残している。毎日の申し送りで報告する等、全職員が情報共有できるように努めている。 ⊕管理者と介護リーダーを相談・苦情窓口としている他、受付に、意見箱を設置しており、家族等からの意見や要望を受付けている。		A. 十分にできている 29% B. ほぼできている 57% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0% 未回答 14%	>ご家族様等が意見、要望を聞き取り、サービスに反映させる。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕月に一回、事業所内で会議を開催しており、職員から意見や提案を求めている。私用や業務中のため、会議に参加できない場合は、事前に用意してある意見用紙に記入を求め、全職員からの意見を求め、運営に反映できるよう努めている。 ⊖会議を開催するにしても、勤務体制上、参加人数の確保が難しい。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕介護職員の賃金向上を目的に、介護報酬を加算して支給している。 ⊕人事考課を年に1回実施・評価している。介護福祉士・介護士として、キャリアアップ・向上心を持って働けるよう、職員ひとり一人に面談する機会を設ける等、就業環境の整備に努めている。 ⊖職員一人ひとりのやりがいを見出せる環境を整えていく必要がある。		A. 十分にできている 0% B. ほぼできている 86% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0% 未回答 14%	

				⊖介護の人材不足が課題である。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受けられる機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕職員の希望に応じて、積極的に外部研修（有料の研修を含む）の参加を勧めている。 ⊕オンライン研修等を受けられる設備を整えている。 その学習した内容によっては、伝達研修を開催している。		A. 十分にできている 14% B. ほぼできている 86% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0%	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕コロナ5類移行も、交流の機会は少ない状況ではあるが、認知症グループホーム協議会主催の勉強会またはオンライン会議に参加している。 ⊕必要時は、同業者同士電話やメールで情報収集・意見交換している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕家事作業など、共同作業を利用者様と職員で役割分担し、一緒に行えるように努めている。 ⊕人生の先輩として、敬意をもって関わり、共に過ごし支え合える関係づくりに努めている。 ⊖上記の一方で、業務時間に追われる等、職員主体になってしまうことも否定できない。			
15	馴染みの人や場所との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕ご家族様から情報を得て、自室に馴染みの物を持参する等、必要に応じて事業所から依頼している。 ⊕感染予防の観点から、面会場所の制限はあるが、面会の再開、ハガキ、電話、相談に応じてオンライン面会を行う等、関係継続の支援に努めている。	➢感染症に対する予防対策は、緩和や解除の判断が極めて難しい問題であるため、利用者のより良い生活の実現と安全の確保のバランスを慎重に考慮していただきたい。 ➢利用者が大切にしていたものを置く等の取り組みはとても良いと思います。面会が難しい時期は写真や動画を撮ったりして家族に共有する方法もあるかと思います。共		

				<p>⊖面会場所を設けており、家族や知人等が自室まで行く機会が殆どない。家族同士ゆっくりと過ごすことができていないと感じている。感染状況を鑑み、緩和していきたいと考えている。</p>	<p>有する方法もメールや SNS の利用も検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>➢感染予防による行動制限を思慮すると、今できることはしていると評価します。</p> <p>➢馴染みの人、物、場所、大変難しい問題に取り組んでおられることにご苦労を感じます。幸せにしてくれる人や物、そして場所が無くなることはとても寂しいことです。長い入居生活をされる利用者様が快適に過ごせる施設をこれからも継続してお願いします。</p> <p>➢面会を自室で見舞いたい気持ちよく分かります。社会に蔓延した色々な感染症がなければ、こんな苦しみはないと思います。感染対策に協力したいと思います。</p>		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕日常会話や表情・反応等から、本人の思い・意向を汲み取れるように努めている。</p> <p>⊕月一回サービス計画についてモニタリング・評価を実施。定期的・必要時には、ご家族の意向も考慮し本人本位に検討会議の場を設けている。その内容は、全職員で共有できるように、各利用者を受け持つ担当者（職員）を中心に呼びかけ、周知徹底に努めている。</p>			➢随時、意向の確認が必要となる。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕利用者様一人ひとりに介護担当者を配置している。各担当者と管理者（ケアマネジャー）を中心に、利用者様の意向を確認している。また、利用者様の健康・身体・認知症の状態、生活状況などから、リスクの要因・課題を見つけ、ケアの方向性を定め、計画書を作成している。</p> <p>⊕毎月管理栄養士と栄養マネジメントを行っている。</p>	<p>➢実習生受け入れの際には、養成校内の学習だけでは感じ取ることが難しい、チームで展開する介護過程の実際については是非ご指導願いたい。</p> <p>➢自己評価の記載内容について、運営推進会議では実例などの報告がなされていないため評価しづらいところがあります。「こういった課題があり」、「こういったケアに変更」、「このようにケアプラン反映させた」と実例を紹介してもらえれば評価しやすいと思います。</p>	<p>A. 十分にできている 29%</p> <p>B. ほぼできている 57%</p> <p>C. あまりできていない 0%</p> <p>D. ほとんどできていない 0%</p> <p>未回答 14%</p>	<p>➢利用者様、ご家族様と話す機会を設け、意見を反映させる。</p> <p>➢月1回のモニタリングの内容を職員間で情報共有し、ケアに反映させる。</p>

				<p>⊕利用者様の身体状態に応じて、リハビリの専門職と協働で介護計画書を作成している。</p> <p>⊕介護計画書については、毎月担当者がモニタリング評価を実施、おおよそ3ヶ月おきに、各担当者と管理者（ケアマネジャー）を中心にカンファレンスを開催し評価・修正を行っている。</p>	<p>各利用者に担当職員を付ける事でより利用者の価値観や意向の吸い上げが出来、より良いアセスメントが取れる事が期待されると思います。またリスクの洗い出しも出来ているようなのでとてもチームで関わった介護現場だと思います。</p> <p>>認知度により、本人のニーズを見極める事が難しいと思いますが、多方面の方々のお力でより良いケアがなされていると感じます。</p> <p>>身体状態に応じた機能訓練や栄養管理等それぞれ担当者をつけて良いです。おおよそ3ヶ月おきに評価修正を行っている等々、評価できる内容です。</p>		
18	個別の記録と実践への反映	<p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕ケアプランに沿ったケア内容を記録している。毎日、申し送り等で必要な情報を共有している。</p> <p>⊕各利用者担当者の役割の一つで、実践状況の確認を月一回行っている。毎月、課題・解決策を検討している。その検討した内容は、全職員で情報共有している。</p>		<p>A. 十分にできている 14%</p> <p>B. ほぼできている 43%</p> <p>C. あまりできていない 14%</p> <p>D. ほとんどできていない 0%</p> <p>未定 29%</p>	<p>>課題抽出から改善、実行までを速やかに行える人材と環境づくり。</p> <p>>利用者担当者の役割の一つで、記録漏れや不備がないか確認作業を徹底することで、その日その時の正確な情報を共有する。</p>
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	<p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕介護の視点だけでなく、医療機関・管理栄養士・リハビリの専門職に意見を求め、ケアに反映している。</p>	<p>>隣接の愛宕病院様をはじめとした医療機関や多職種との連携を引き続き継続していただきたい。</p> <p>>リハビリ専門職、管理栄養士からの助言は、サービスの質向上に繋がる活動と評価します。今後も積極的に行ってほしい。</p> <p>>他職種の視点を取り入れた対応はとても良いと思います。またそこに加え地域の意見や研修等を通した外部の事例を聞き、対応力のアップに繋がれば良いのかと思います。</p> <p>>多職種協働で専門職からのアドバイスを取り入れ、ケアに積極的に取り組んでいる印象です。</p>		<p>>リハビリ専門職の意見を日々のケアに反映させる。</p> <p>>地域の意見や研修等を通した外部の事例を聞き、対応力のアップに繋がってほしい。</p>

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕移動販売車とくし丸（1回/週）、歯科往診（1回/週）、福祉用具、訪問美容（適宜）等を利用している。</p> <p>⊕8月は婦人部の精霊船花づくりに参加させていただいた。</p> <p>⊖感染予防の観点から、地域のサロン・カフェや高校生が主催しているカフェに参加できなかった。</p>	<p>➢感染症の状況を考慮し、安全確保には慎重に留意しながらも、緩和できる対応を少しずつ増やしていけるよう前向きな取り組みを期待したい。</p> <p>➢地域の情報を共有し、参加できる行事には積極的に参加していただいております。</p> <p>➢他にも活用できる地域資源がないか、常にアンテナをはってほしい。现阶段で感染予防に配慮しつつQOL向上に努めていると思います。</p> <p>➢地域資源を上手く活用されていると思います。</p> <p>➢人との接触が制限される世の中でしたが、徐々に緩和傾向にあります。事業所の判断と思いますが、状況を判断されたとえでまた地域に出るような活動が出来たらと思います。</p> <p>➢精霊船花づくりご協力ありがとうございました。つくる数が多くないでしょうか。自治会から一人でも参加できると、より楽しく上手くできるかもしれません。（訪問制約があればできませんが…）</p> <p>➢地域資源を活用し、地域の行事に参加、協働し地域の一部となっていると感じます。</p>		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕ご本人様、ご家族様の要望に沿って、かかりつけ医との関係を継続している。</p> <p>⊕ご家族様の病院付き添いが難しい場合は、職員が付き添い受診し主治医へ情報を提供する等、異常の早期発見・対応に努めている。</p> <p>受診の結果は、ご家族に報告している。</p> <p>⊖ご家族様お一人おひとり、求めている報告内容（考え方）は様々で、配慮が足りない部分も多々あると感じている。</p>			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>⊕入院時は、地域連携室の担当者や医師・看護師に情報を提供している。退院に向けて適宜情報交換を行っている。主治医・リハビリ・他職種へ相談しながら、可能な限り早期に退院できるように、日程を調整している。</p>		A. 十分にできている 71% B. ほぼできている 0% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0% 未回答 29%	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>⊕利用契約を交わす際に「重度化した場合の指針」について、ご家族様に説明している。</p> <p>⊕利用者様の状態に応じて、終末期のあり方やできること「看取り介護の指針」について説明している。ご家族様から同意を得てから支援に取り組んでいる。</p> <p>⊕看取り介護の勉強会を開催、医療機関へ相談、指導を受ける等、チームケアに努めている。</p> <p>⊖ご家族様等との話し合いが十分にできていない部分も多々あると感じている。</p>		A. 十分にできている 43% B. ほぼできている 43% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0% 未回答 14%	>適宜、重度化した場合や終末期のあり方について説明と意向を確認し、利用者様が望む生活をチームで支援する。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>⊕7割ほどの職員が、救急救命講習を受けている。今後も、可能な限り講習へ参加していく。</p> <p>事業所の指針に沿って、定期的に施設内研修を行い、様々なケースを想定し、実践力が備えられるよう努めている。急変、事故発生時は対応策を検討し次に活かせるよう振り返りを行なっている。</p>			>新人・外国人職員であっても緊急時対応の流れ、救急救命時の対応ができる。救急要請時に必要な情報（書類）の整備。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域と	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>⊕地域の方の見守り支援の協力体制を築いている。</p> <p>自然災害時は、建物4階が地域住民の避難場所としており、運営推進会議等を通して情報交換している。</p>	>感染症対策で活動が制限される現状を踏まえて、効果が最大限引き出されるような日頃の訓練等の在り方を模索していただきたい。	A. 十分にできている 57% B. ほぼできている 29% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0% 未回答 14%	

		の協力体制を築いている		<p>⊕事業所では月一回消防訓練を実施。法人内で年2回消防署立ち合いの下、消防訓練を実施しており、総評・指導を受けている。火事と自然災害を組み合わせた訓練を実施している。</p> <p>⊖コロナ等の感染症予防の観点から、地域住民を交えた訓練ができていない。</p> <p>⊖コロナ等の感染症予防の観点から、地域住民の避難場所として、提供できていない。</p>	<p>>地域に開けた避難所として活用させていただいております。避難に使う用品の整備についてもおこなっていただいております。</p> <p>>有事の際、焦りから避難が遅れないように、日頃の訓練、職員への研修をお願いします。また、1階、2階の他事業所との連携体制も日頃から確認をよろしくをお願いします。</p> <p>>火事のみならずしっかり災害も意識しておられる素晴らしいと思います。</p> <p>>避難場所の提供等地域に発信しておられるので、地域としても頼もしさや安心感を与えていると思います。</p> <p>>消防訓練を見かけたことがあります。大切なこと守っていただき安心です。</p> <p>>社会資源は色々ありますが、それをうまく活用又は安全性を見極める事、タイミング等、社会情勢がめまぐるしく変化するので難しいと思われまます。</p> <p>>火災や自然災害を組み合わせた消防訓練を実施され、消防局より総評指導を受けておられますが、近隣との協力体制を構築するために地域住民の参加等を検討して下さい。</p> <p>>訓練はやりすぎと言うことはないです。日頃の訓練が身の安全を守ることに繋がります。くれぐれも油断なく緊張感をもって努めてください。</p> <p>>地域住民としては、近隣に災害時の避難場所があることで大きな安心感があります。</p>		
--	--	-------------	--	---	---	--	--

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕排せつ・入浴等の援助の際は、羞恥心や自尊心を大切にして、声のトーンや大きさなど、言葉遣いに心がけているが、実際に十分に対応できていない場面もある。</p>	<p>A. 十分にできている 14%</p> <p>B. ほぼできている 57%</p> <p>C. あまりできていない 14%</p> <p>D. ほとんどできていない 14%</p>	
----	--------------------	---	--	---	---	--

				そのことについて、各々が自覚をももてるように、一日の振り返り「不適切なケア・気づき」について、毎日職員で話し合う時間を設けている。 ⊕排せつの失敗を最小限に抑えられるように、個々の時間（排せつ間隔）を考慮しながら、必要に応じて声掛け・誘導している。		
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕集う時間と、一人ひとりに合わせた個人のペースで過ごす時間を考慮しながら支援に努めている。 ⊕意思疎通が困難な場合は、体調や表情等から想いを探り、支援に努めている。 ⊕安全に暮らせる環境をつくれるように、委員会を中心に、業務内容・改善策について、随時検討する必要がある。		➤希望や意向について、情報収集し、実現に向けたサービスに努める。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕利用者様の能力に応じて、調理、食事の盛り付け、配膳、後片付け等を職員と一緒にやっている。大まかな役割分担は、それぞれ介護計画書の内容に盛り込んでいる。 ⊕各担当者を中心に、月1回実施状況を確認している。 ⊕行事の一つで、ある一定の期間「季節のお弁当」を提供している。普段と違った食事内容に、利用者様からも好評である。	A. 十分にできている 14% B. ほぼできている 71% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0% 未回答 14%	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕管理栄養士が献立を立てた、バランス良い食事を提供している。個別に合わせて、嫌いな物・禁止食等は代替品を提供している。摂取量が少ない時は、かかりつけ医や栄養士に相談し補助食などを購入し提供している。		

				<p>⊕1日の飲水量 1,000~1,500mlを目安に提供し、飲水量を記録している。</p> <p>⊕月一回、管理栄養士と栄養マネジメントを開催し、体重・BMI・低栄養リスク等について話し合い、ケアに反映している。</p>		
30	口腔内の清潔保持	<p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕毎食後、利用者様の能力に応じて口腔ケアに努めている。義歯は洗浄剤につけている。必要な方には、定期的に歯科往診を依頼しており、助言や指導を受け、日々のケアに活かしている。</p> <p>⊖業務時間に追われて、口腔ケアに長く時間をつかえないこともある。</p>		<p>A. 十分にできている 14%</p> <p>B. ほぼできている 71%</p> <p>C. あまりできていない 0%</p> <p>D. ほとんどできていない 0%</p> <p>未回答 14%</p>
31	排泄の自立支援	<p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕排泄パターンを把握するため、飲水量・排泄状況を24時間記録している。</p> <p>⊕毎月、おむつ用品の使用状況を集計して、前月と比較して使用枚数が増えている等、職員間で情報を共有している。おむつ用品の種類や使い方について見直し、ケアに活かしている。</p> <p>⊕利用者様の状態に応じて、医療機関へ報告・指示を仰ぎ下剤の調整を行い、便失禁または便秘予防に努めている。</p> <p>⊕利用者様が立位困難な場合でも、職員二人介助で対応する等、可能な限りトイレで排泄できるように心身の状態に合わせて援助している。必要に応じて、自室にポータブルトイレを設置するなど、自立支援に努めている。その際、事故リスクを考慮して環境を整えている。</p> <p>⊖できること（ズボンの上げ下ろし等）は、自力で行ってもらうなど、</p>		<p>A. 十分にできている 14%</p> <p>B. ほぼできている 71%</p> <p>C. あまりできていない 0%</p> <p>D. ほとんどできていない 0%</p> <p>未回答 14%</p>

				利用者様の状態に応じて介助していきたいところではあるが、時間に追われて、つい職員主体でケアすることも少なくない。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<input checked="" type="checkbox"/> 入浴日は定めていないが、週2～3回入浴できるように、体調や希望を考慮して、毎日調整している。 <input checked="" type="checkbox"/> 行事の一環として「菖蒲湯」「ゆず湯」といった、季節に応じた入浴を支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<input checked="" type="checkbox"/> 快適な生活の場を提供できるように、居室やフロア等の共同スペースの空調、湿度、温度調整を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> エアコンや加湿器で室温を調整し、こまめに換気している。 <input checked="" type="checkbox"/> 業者へ空調点検等を、定期的に依頼している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者様の体調・体力面を考慮して離床・臥床時間の調整や排せつケア等で、睡眠を妨げないように、24時間のチェックシート、眠りスキンの睡眠データを参考にして援助を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> リスキンの睡眠データを参考に、薬の調整・指示を受け、改善できた例がある。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<input checked="" type="checkbox"/> 薬説明書は、いつでも確認できるように個別にファイルして、服薬内容を把握できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 重要な内容については、申送り等で情報共有している。また利用者様が初めてつかう薬については、定期的に評価している。 <input checked="" type="checkbox"/> 服薬介助のマニュアルをもとに、「薬をセットした人」「薬を飲ませた人」「薬をいつ飲んだか」などチ		<input type="radio"/> A. 十分にできている 14% <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている 71% <input type="radio"/> C. あまりできていない 0% <input type="radio"/> D. ほとんどできていない 0% 未回答 14%	

				<p>エックシートをつかって可視化し、全職員が確認できるようにしている。</p> <p>⊕「薬を口にいれる」「薬を手の平にのせる」など、利用者様の<u>できる能力</u>を、最大限に活かせる介助に努めている。</p>			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕利用者様の能力や体力、その日の体調に応じて、洗濯物を干す・畳む、テーブル拭き、食事のメニュー書き、食事の盛り付け・後片付け、調理等の家事作業を職員と一緒にやっている。</p> <p>⊕午前（10時頃）の体操・レクリエーション活動、ティータイム。</p> <p>午後（14時半頃）のレクリエーション活動、おやつタイムなど、おおよそ利用者様ひとり一人の生活リズムが習慣化されている。</p> <p>⊕機能訓練を含むレクリエーション活動、散歩や買い物など「できること」「楽しみ」について、定期的なアセスメントして、個別にサービス計画に反映するよう努めている。</p> <p>⊕月に一回モニタリングを行い、実施状況を確認している。その内容は職員間で共有して、可能な限り支援するよう努めている。</p> <p>⊖利用者様ひとり一人の生活歴（趣味など）を活かせていない。</p> <p>⊖安全面を考慮して、対応できない日もある。</p>	<p>> 利用者の生活歴を活かした活動まで行き届けばより良い支援ができるはずなので、業務の状況との兼ね合いもあると思うが、可能な範囲で実現できるよう努めていただきたい。</p> <p>> 自己評価に「生活歴や趣味を生かせていない」と記載ありますが、趣味活動において対1の支援が必要な場面があるかと思いますが、役割意識や達成感は生きがいに繋がると考えます。限られた人員のなかと思いますが、1年1回、半年に1回、月に1回とその頻度が増え習慣化できたら自己評価は高くなるのでないでしょうか。</p> <p>> 本人の能力を活かし、生活動作を通し、その人らしさを保つよう意識されていると思います。安全面の考慮は常に付きまとうと思われませんが、本人の意向や家族の報告を通し最も良い形を検討しながら、継続するといいなと思います。</p> <p>> 歳を重ねると、自分から何かをすることは難しいです。施設生活となると尚難しいでしょう。職員の方の支えが必要です。一人ひとりの能力に応じたケア体調管理は難しいことですが、更なる努力を期待します。</p> <p>> 写真で拝見する利用者様はとても良いお顔をしています。職員の方々と共に日々の暮らしの様子が伺えます。</p> <p>> 利用者様の生活の様子は、議事録等で伺えます。頭が下がる思いです。</p>		<p>> 「できること」に着目してた自立支援。気分転換ができる環境づくり。</p>

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕気候が良い時期は、月1回外出支援を行った。 ⊕週1回、移動販売車とくし丸を利用して、希望する利用者様に対して、職員が付き添って買い物に行っている。 ⊕ご家族様に協力していただくなど、病院受診時に出かけている。 ⊖外出する頻度が少ない。 ⊖移動販売車とくし丸の利用において、持病（糖尿病）がある方など、買い物を我慢させてしまうケースもあり、余計なストレスを与えてしまうことがあった。 ⊖家族同士で会食や外出の依頼があったが、感染予防の観点からお受けすることができなかった。	>現在は厳しい感染症対策を強いられているが、一時期に比べて緩和を検討しやすい社会的状況にはあると思われるので、他項目と同様、利用者の安全とより良い支援とのバランスを慎重に考慮しながら、前向きな取り組みができるよう努めていただきたい。 >感染予防による行動制限はしかたないところがあります。事業所～敷地内で完結する楽しみが増えればと思います。4階リハビリ室を映画館化して、映画の雰囲気を楽しんでもらうなど。 >多忙の中月に1回の外出支援を行っていることは素晴らしいと思います。一方で外出頻度が少ないと振り返られている事は思いと業務の狭間で葛藤されているのが伺い知れます。その時期、その時の状況に左右されると思いますが可能な限りは月に1回の外出支援を継続されたいと思います。 >糖尿病の件に関しましてはよくあるケースだと思われます。家族とも話し合いながら許容範囲についてよくよく話し合われる事が大事だと思います。 >外部との接触がまだまだ制限があって、とても厳しいことですね。 >外出支援を少人数ずつされているとお聞きしています。有難いことだと思います。 >コロナ禍の影響で制限がある中、日常的な外出支援は難しいですが、できる範囲内の取組は評価できます。		>外出頻度を増やしていきたい。行事計画を立てる。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じた、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕ご家族様とお金の所持について話し合い、基本は事業所で預かり、必要時に引き出すことができるため、突発的に必要となったものを購入できる。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕電話や手紙でやり取りができるように支援に努めている。利用者様の能力に応じて、直筆で書いたハガキ・手紙を送る等の支援を行う等、頻度については、各利用者様に応じて、サービス計画書に盛り込んでいる。 ⊕電話やメール、手紙のやり取りを続けている方もいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕温度・湿度計を参考に、空調の調整・換気等を行っている。（9月/全ての換気扇の掃除済み 11月/空調の入替工事実施） ⊕状況によって、照明を明暗にしたり、テレビ・音楽の音量、周りの生活音に敏感な利用者様に配慮して、環境づくりに努めている。 ⊕建物内部でも季節を感じていただけるように、季節に応じた飾りつけ、レクリエーションの一環で飾りづくり、行事活動に努めている。 ⊕利用者様同士が不快な思いやトラブルなど、最小限に抑えられるように、席の配置などには注意を払っている。 ⊕移動などの妨げにならぬよう障害物をなくし、手すりや家具の位置などに考慮して、動線を確認している。 ⊖掃除が行き届かない面が多々あったと感じている。		A. 十分にできている 14% B. ほぼできている 71% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0% 未回答 14%	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕月一回、サービス計画書のモニタリングを行う際に、ご本人様の意向を確認している。 ⊖日々関わり、生活習慣を把握し、安全に暮らせるように努めている			

				が、ひとり一人の「思い」「願い」を叶えているとは言い切れない。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>⊖生活歴の情報から、人との関り、趣味を活かした活動に取り組み、サービスの提供に努めているが、十分とは言い切れない。</p> <p>⊖認知症の進行によって、過去の暮らしが十分に聞き取れていない等、情報が不足していることもある。</p>			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>⊕毎日のバイタルサイン測定、飲水・食事摂取量、排尿・排便量など記録しており、時間帯で職員が交代しても、継続的に援助が行えるように努めている。</p> <p>⊕利用者様によっては、排便があったことを報告することが習慣となった方もいる。</p> <p>⊕異常があった時は、医療機関に報告し指示を仰ぎ対応している。</p> <p>⊖異常時には医療機関へ報告するものの、指示・対応が遅くなる場面もあり、今後協力医療機関との連携が課題の一つと考えている。</p>		<p>A. 十分にできている 29%</p> <p>B. ほぼできている 86%</p> <p>C. あまりできていない 0%</p> <p>D. ほとんどできていない 0%</p> <p>未回答 14%</p>	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>⊕心身の状態、様々な状況に応じて、入床、起床、入浴、食事の時間帯を個別に対応する等、可能な限り努めている。</p> <p>⊖ほとんどの利用者様が、グループ生活に慣れていることもあり、これまで（在宅）の暮らしの習慣にあった生活とはいえない。</p>			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	⊕認知症の症状や環境の変化により不安を感じることも多いため、ご家族様へなじみのものを持参していただくよう依頼している。		<p>A. 十分にできている 43%</p> <p>B. ほぼできている 43%</p> <p>C. あまりできていない 0%</p> <p>D. ほとんどできていない 0%</p> <p>未回答 14%</p>	

				<p>⊕自室にソファやタンスなど、なじみの家具を設置している人、家族写真を飾っている人、お気に入りの衣類を持参している人など、安心して暮らせる空間を意識している。ご家族様へ相談し、必要に応じて物品を依頼している。</p>			
45		<p>本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕事業所で季節ごとに行事を計画し開催している。 ⊕少しずつ外出できるようになってきた。 ⊖利用者様の「ちょっと家に帰りたい」等の希望に応じることができていない。 ⊖感染予防の観点から、催事自体が中止、参加できていない。</p>	<p>>項目 36 に同じ。 >感染リスクが高まる催しは避けるべきと思います。No36 の評価と同様に「できること」、「できないこと」を判断しその中で創意工夫をよろしくお願いします。 >利用者の希望に応じる事が出来ないのは1人1人の背景や事情があると察します。希望に応じれる部分は希望通りにしつつ、出来る範囲の対応はされていると思います。 >季節を感じたり、刺激があることは利用者様には必要なことで生活の質の向上に欠かせないことです。外部への参加は困難でも事業所内で行事を行うことは非常に良いです。今後も継続してください。 >6月の紫陽花見物、8月の鍋冠山、女神大橋、夜景、写真で拝見すると利用者様はとても良いお顔をしています。職員の方々と共に日々の暮らしの様子が伺えます。 >利用者様の命をお守りすることは、感染予防の観点から我慢も必要だと感じます。</p>		
46	本人が持つ力の活用	<p>本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕各担当者（職員）を中心に、定期的に23項目のアセスメントを行い、状態把握に努めている。</p>			
47		<p>本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々</p>	<p>A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕利用者様の中で「会話ができる・できない」「話が合う・合わない」等、性格や病状、利用者様の状態に</p>		<p>A. 十分にできている 14% B. ほぼできている 86% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0%</p>	

		<p>の暮らしの中で得ることができている</p>		<p>応じて、食卓や集う場の配置を工夫している。</p> <p>⊕職員が間に入って話題を振ると、後は利用者様同士で会話が弾むことが多い。そういった場面づくりを意識して対応している。</p> <p>⊕家事作業（洗濯物や食事の準備等）を通し、家庭と同じような雰囲気でき話ができる場をつくっている。</p> <p>⊕利用者様の能力に応じて「洗濯物を干す人・たたむ人」など、できることを職員と一緒にやっている。</p> <p>⊕普段と違った催し物や関わりの中で、利用者様の新たな能力に気づかされることがある。</p>	/		
48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕職員と一緒に建物周辺を散歩する際に、地域の方々へ挨拶を交わすこともある。</p> <p>⊕雑巾活動（つくった雑巾を学校や保育園へ寄贈）、精霊船の花づくりに参加する際は、利用者様に対して理由や目的をその都度説明しており、一瞬でも地域との関りを感じていただければと考えている。</p> <p>⊖近隣や地域の人々と、利用者様自ら交流できる場をつくれていない。</p>	<p>➢感染症対策の影響で積極的な地域参加が難しい現状であっても、普段の生活の中で地域との関わりを感じられるような現状の取り組みを継続しつつ、機会を拡大するための検討も必要である。</p> <p>➢雑巾活動など間接的な社会参加が、以前のように入居者本人が学校を訪問し学校に贈呈することでできればと思います。</p> <p>➢利用者自らの交流の場に関しましては包括でも情報提供を含め協力できることがあるかもしれません。何かあればご相談頂ければと思います。</p> <p>➢花づくりは有難いです。せっかくの行事、今年は町内の方と交流できるといいですね。</p> <p>➢感染予防の観点から、コロナ禍で地域との交流は難しいことばかりですが、利用者様個々の残存機能を維持向上を目的として散歩（歩行訓練）や散歩中に住民と交わすあいさつなど、今後も少しずつ関わりを増やして行ってほしいです。</p>	/	<p>➢十分な感染予防対策を地域の活動に参加していくことを期待する。</p>

49	総合	<p>本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>⊕愛宕病院と隣接しており、医師・看護師と連携がとれる環境である。 ⊕夜間帯では、建物内に看護師が待機しており、必要時には速やかに連携がとれる環境である。 ⊕医療法人のため、専門職へ意見を求めやすい環境にあり、ケアに反映できる。 ⊕自治会をはじめとする地域住民の方々と、協力体制が築けている。 ⊕年6回の開催義務がある運営推進会議では、自治会長、民生委員、認知症サポートリーダー、教員、包括支援センター等、第三者から様々な意見をいただける環境にある。 ⊕地域の活動（精霊船の花飾りづくり）に参加できている。 ⊕利用者様と生活する中で、ある利用者様から「至り尽くせりで幸せ」「あなたがおってよかった」等、言葉を聞くことがある。こういった言葉を聞くと、安心・信頼してもらっていると、感じることもある。 ⊕家事作業をされる利用者様にお礼を伝えると「このぐらいいつもしてるから…」と、快く手伝ってくれる。このような“お互い様精神”を広げ、より家庭的なホームを目指していきたい。 ⊖上記の一方で、介助の手が行き届かない場面も多く、事業所の全体的な業務内容を見直し、改善すべき点も多くあると感じている。 ⊖感染予防の観点から、地域との関りも少なくなった。また、公共施設の利用や他事業所との関り、外食等の活動ができていない。</p>	<p>>グループ内の複数事業所との連携がしやすい強みを生かし、利用者に対して包括的なケアが今後も提供されることを期待する。 >地域社会に融けこみ、地域の皆様と大変良好な関係が維持できております。また、活動されているスタッフの方々は、やりがいを持たれ、満足して業務に励まれていると思います。 >法人の内部資源は活用できていると評価します。愛宕病院との医療連携、リハビリ専門職と身体機能評価、管理栄養士との栄養マネジメントは今後も継続し入居者のQOL向上に繋げてほしい。新型コロナウイルスが第5類に位置づけられましたが、病気が根絶した訳でもなく抵抗力の弱い高齢者には重篤になり得る疾患です。感染予防に配慮しつつ以前のように入居者の社会参加や自己実現を実行する意志や体制は維持していかなければならないと考えています。 >全体的に利用者状態把握をしっかりとされており、利用者らしさを保ち、自己実現に向けて取り組みされている印象です。 >地域との関わりについて、定期的な運営推進会議の連絡や開催で情報共有されており、地域に開放的な印象です。また地域のお手伝いもされたり、避難場所の提供をされたりと地域にとって頼もしい存在だと思えます。 >一方で出来ていない点について、コロナ規制が厳しく対応が難しかったように思います。利用者の安全第一ですので仕方ない事だと思いますが、そんな中でも出来る事を探し工夫されているように思います。コロナ禍が明けたらより一層地域に密着する事業所を勝手ながら期待しています。</p>	<p>A. 十分にできている 29% B. ほぼできている 71% C. あまりできていない 0% D. ほとんどできていない 0%</p>	<p>>複数事業所との連携がしやすい強みを生かし、利用者に対して包括的なケアが今後も提供されることを期待する。 >医療機関と、栄養・リハビリの専門職からの意見をケアに反映させ、より良いケアの質の向上を目指す。 >利用者様の「できること」に着目して、一人ひとりが望む生活を支援する。</p>
----	----	---	--	--	---	---	---

				<p> >入所されている方は、本当に良い環境にあると思います。私たち住民も町内に、施設があることに安心感があります。 >民生委員がボランティア活動で訪問していましたが、コロナによる面会の制限が緩和されて何らかのかたちで、私たちが訪問できたらいいなと思っています。 >災害時避難場所として、提供いただけること、近隣住民として大変有難いです。 >運営推進会議が開催できずにいることは、どうしても私自身の関心が薄れてしまうことは正直あり、申し訳ないです。 >組織環境が整っているので、地域の力強い安心感を得ています。 >同法人に医療機関があり、医療との連携体制が整っている。 >各専門職と連携体制が整っており、ケアに反映できる。 >年6回の開催義務がある運営推進会議では自治会をはじめとする、地域住民の方々から、様々な意見をいただいている環境である。コロナ禍の影響で事業所内の往来は厳しい規制がありましたが、毎回議事録（資料）を郵送にていただき報告がありました。 >事業所と自治会協力体制にあり、地域の活動（精霊船の花づくり）に参加できている。 >利用者様と職員と一緒に生活することで安心感をもって生活できる環境づくりに努力している。 >介助面では事業所の全体的な業務内容を見直し改善に向かって進むことを願っています。 >感染予防対策、守る利用者様がおられる以上、慎重にあるべきと思います。 </p>		
--	--	--	--	--	--	--